



親鸞聖人御誕生850年法要  
立教開宗800年法要  
覚法寺現本堂内陣最終法要



季刊

覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園 1-25  
電話 (096)383-4874  
FAX (096)383-3050  
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp  
http://www.facebook.com/kakuhouji  
お問い合わせ  
参拝部:電話(075)371-5181  
覚法寺:電話(096)383-4874



©2010 熊本県くまモン  
熊本県 SDGs 登録事業者

住職雑記

昨年、「鎌倉殿の十三人」という大河ドラマが放映されていました。まさに浄土真宗の開祖である親鸞聖人は同時代に生きた方でありました。▼ドラマでの内容のとおり、当時は身内であっても命を脅かす程殺伐とした世の中であり、突然広まった念仏の絶対平等の教えは、今の時代以上に人々に希望を与えた事は想像に難くありません。但しその念仏の平等の教えが権力者に対して、挑戦的であり邪魔なものとも映ったのです。▼浄土宗の開祖である法然聖人や浄土真宗の開祖である親鸞聖人は「承元の法難」によって流罪となり、親鸞聖人は越後へ流されるのであります。しかし不屈の精神で越後から関東へ念仏のみ教えを広める旅に出て、関東の地で親鸞聖人の主著である『教行信証』を執筆されました。これが浄土真宗の立教開宗の起源とされています。▼アニメで有名な宮崎駿さんの言葉に「人もミミズもみな同じところにある」とあります。立教開宗から八百年、私たちは今、何に喜びを感じ、何に悲しみ、何を残すべきかが問われているように感じます。

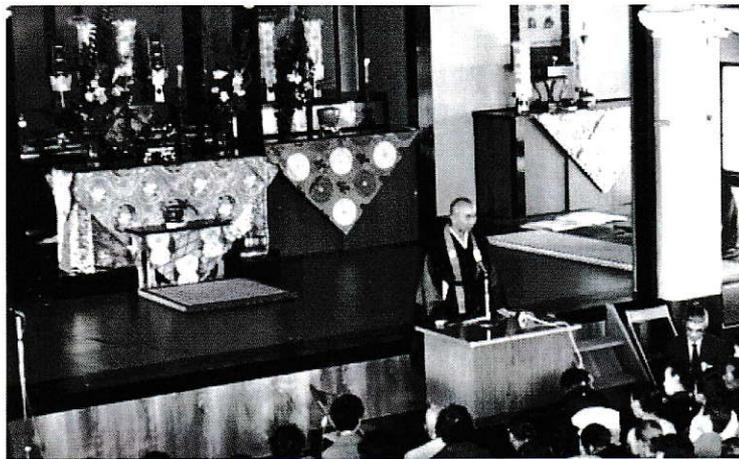
本年覚法寺は、いよいよ新納骨堂を建築致します。その建築工事に伴い、本堂の一部を解体せざるを得ませんでしたので、六月十八日の法要をもって、現本堂内陣最終法要として執り行わせていただきます。

覚法寺の本堂は、戦後十数年が経った昭和三十五年に建てられた建築物です。その後旧納骨堂が昭和四十年に建てられました。この度熊本地震の損壊と老朽化に伴い、まず新納骨堂を本年建築いたします。

また現本堂内陣は、平成十四年に皆様のご寄進により大改修されました内陣でありますので、一度回収した後再びそのままの状態での復元工事する予定です。

大法要の予定

- 令和五年六月十七日(土) 午前中、親鸞聖人御誕生八百五十年法要
- 令和五年六月十八日(日) 午前中、浄土真宗立教開宗八



百年法要並びに覚法寺現本堂内陣御遷仏御遷座最終法要  
多くのご参拝をお待ちしております。  
※写真は本堂完成から三年後、昭和三十八年の本堂の様子です。

報恩講法要二〇二二

令和四年(二〇二二年)の報恩講は、十一月二十二日、二十三日の二日間勤修されました。一日目は大師影供作法と御俗姓。二日目は報恩講作法と御伝鈔。

今年もお斎は中止になりましたが、お持ち帰り用の粗飯とお菓子をお配りしました

御伝鈔を拝読して

御伝鈔とは、覚如上人が親鸞聖人の遺徳を讃仰するために、その生涯の行蹟を数段にまとめて記述された詞書であり、毎年、報恩講の際に拝読するのが恒例



このお内陣で最後の報恩講。御絵伝の前にはお供物の松風。



御伝鈔の拝読



子どもたちがお菓子を配ってくれました。

であります。

現行のものは上・下二巻、計十五巻からなっており、細かく分けると、上巻には八段、下巻には七段と分かれております。

この度は、上巻の三段、四段と続けて拝読させていただきました。私としては今まで御伝鈔を聞いたことはあつたのですが、拝読したことがなく、初めての経験となりました。

時間にして約十分程度ではあるのですが、年に一回の報恩講の場であり、お参りに来られた皆様の前で拝読するとなると声が震えるほど緊張してしまいました。

しかし、報恩講が終わると多

くのご門徒の方にお褒めいただき、大変うれしく思っております。

私自身、とても周りの環境に恵まれて覚法寺の僧侶をさせて頂いているという自覚をもってこれからも精進させていただきたく思います。(高原)

ダイナ基金だより

日頃よりダイナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。

今回は国連UNHCR協会の難民支援「中東・ウクライナ防寒支援活動募金」へ5万円を寄付致しました。

今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。

お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。(はちすの会ダイナ基金係より)

※以前季刊誌にて紹介しました募金時に配布の「ウクライナカラー念珠」は、おかげさまで全て無くなり終了しました。



建築企画・設計・監理  
有限会社

三島建築事務所

代表取締役 三嶋 統吾  
一級建築士

〒862-0972 熊本市中央区渡鹿3丁目8番28号

TEL 096-366-5566

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37  
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720

### 九州地区門信徒の集い 仏教壮年会熊本大会

十月三十日(日)熊本城ホールにおいて、九州地区門信徒の集い・仏教壮年会熊本大会が開催されました。覚法寺仏教壮年会の陣内巧さんが大会実行委員長を務められました。コロナ禍で人数制限がされる中、千四百人の方が参加されました。休憩時間には千原太鼓や花童の公演もあり、とても盛況でした。四年後は鹿児島大会です。

#### 仏教壮年会九州大会に参加して

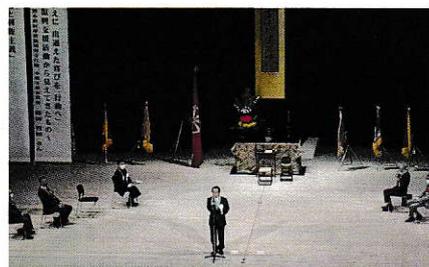
岩田 秀昭

十月三十日に熊本城ホールで開催された仏教壮年会九州大会に初めて参加しました。

七年前の熊本地震で被災し、五年前に母を亡くし、今年一月に従兄弟を亡くし、現在は悲しみを乗り越えて、自分自身の成長を目標にして有意義に日々を過ごしていますが、特に思い出されるのは、五年前に母を亡くしたことです。その時は生きる目標、指針を失い、自分の道標を失った想いでした。しかし、友人の助言、お寺の職員の方の温かい言葉、周りの手助けは今も忘れられません。

今大会午前中の稲葉圭信先生の講演で感銘を受けたのは、今の日本は少子高齢化で、単身世帯が約三割で、孤独死があり、無縁社会でつながりがない分断社会、共助がない社会と言われました。病氣、貧困、経済、対人関係において宗教は、過去も現在も救いの道を説いてきたそうです。この講演で無縁社会の中において、共生し支え合う社会を目指すという稲葉先生の考えに共感いたしました。物事の見方、考え方を再認識し、これからの自分の目標が一つ増えました。

これからの人生において、共生ある社会に、私も微力ですが毎日充実した日々を優しくなれる社会の一員として実践、努力をしていきたいと思えました。



陣内巧さんの実行委員長挨拶



## 覚法寺仏教婦人会 蓮華の会だより

私達の主な活動・・・(秋より初冬へ)・・・



新型コロナについて規制も緩和化され、リスクレベルも考慮しますが、例会も中止する事なく活動を再開しております。まだまだ感染予防対策が必要ですが、新型コロナと向き合いながら活動を進めております。



#### ○蓮華の会(16日)

『如月 香未先生』によります文香作り。…14名参加  
お香の匂いを1種類ずつ確認しながら9種類のお香を混ぜて作成しました。  
混ぜたお香を和紙で包んで世界に1つだけのオリジナル文香が完成して喜ばれていました。



#### ○お磨き(16日)

御正忌報恩講に向けて『仏具のお磨き』を行いました。  
晩秋の気配が感じられる中、7名(蓮華の会5名+仏壮2名)参加していただき、ピカピカに磨いて下さいました。お陰様で、無事『御正忌報恩講』を執り行うことができました。

#### ○22日~23日

『御正忌報恩講』が本堂にて勤修されました。  
【ご講師】正善寺 川田 光映 師  
※コロナ禍によりお昼のお齋は中止となりました。



#### ○お煤払い(おすすはらい)(20日)

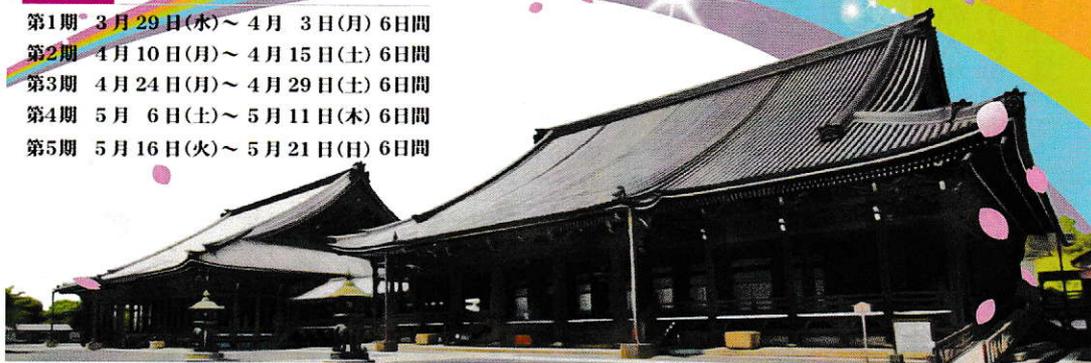
例会は16日をお休みして、覚法寺本堂の『お煤払い』を行いました。  
※お煤払い…1年のほこりを払い、新年を迎える準備のこと。  
※西本願寺では、12月20日に門信徒やご縁のある方々と共に阿弥陀堂や御影堂を大団扇で1年のほこりを払い、新年を清々しく迎える。師走の風物詩。



# 親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

## 立教開宗800年

- 法要期日 2023(令和5)年**
- 第1期 3月29日(水)～4月 3日(月) 6日間
  - 第2期 4月10日(月)～4月15日(土) 6日間
  - 第3期 4月24日(月)～4月29日(土) 6日間
  - 第4期 5月 6日(土)～5月11日(木) 6日間
  - 第5期 5月16日(火)～5月21日(日) 6日間



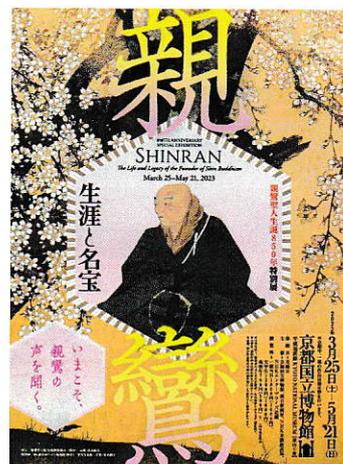
ご本尊は本山から  
お迎えしましょう

ご本尊について  
のお問い合わせ

参拝部  
覚法寺  
☎075(371)5181 まで  
☎096(383)4874 まで

### 熊本組団体参拝のご案内

熊本組では、4月25日～27日の日程で本願寺への団体参拝を予定しております。京都国立博物館の親鸞展にも行く予定です。この度は、全体の募集人数も若干少なめですので、お早めに覚法寺までお問合せください。



毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)  
お寺に参ろう。門信徒総参拝

天台宗の酒井雄哉大阿闍梨が「一日一生」という言葉を残しておられます。野球選手の松井秀樹選手も座右の銘としても有名な言葉であります。朝に生まれて、夜寝るときに死ぬ。一日を一生涯だと思つて大切に生きる。朝起きて「今日も命をいただきありがとうございます」も生かしていただきありがとうございます」と感謝に始まり感謝に終わる、今日が大切な一日だというのを忘れずに日々を過ごしたいものです。(伊津野)



子どもたちがお寺のお夕事のお勤めをしてくれます。

総合建設業

株式会社 竹内工務店



代表取締役 竹内 浩二  
会長 竹内 義雄  
本社/熊本市区尾ノ上4丁目20番11号  
TEL (096)365-3366 (代)  
FAX (096)369-0562  
鹿児島営業所/鹿児島市西田3丁目1番1  
TEL/FAX (099)204-0435

創業60年

不動産の賃貸、売買、管理、相続、全て扱っています。

(株)国府不動産

代表取締役 小川 道雄

〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目13-5 (国府電停前)

☎(096)364-6618